

番号	題名	時代
1-1-1	紅紗地納紗綉百子図門簾 (百子図を刺繡した入口の垂幕)	清・光緒年間(1875—1908)
1-1-2	牙黄色緞地絨綉 慈禧御筆松樹紫藤綉帶鳥片 (西太后の画をもとに刺繡した織物)	清・光緒20(1887)年
1-1-3	藍江縹地綉五福齡椿報喜図片 (福を願う図柄を刺繡した織物)	清代(1644—1911)
1-1-4	藍縹地蘇綉八仙祝寿図片 (八仙祝寿図の蘇州刺繡の織物)	清代(1644—1911)
1-1-5	米色江縹地蘇綉博古図鏡心 (博古図の蘇州刺繡の織物)	清・同治年間(1862—1874)
1-1-6	米黄色江縹地双面綉五倫図屏心 (五倫図を双面綉した屏風用織物)	清・同治年間(1862—1874)
1-2-1	明黄緞綉四合菊花紋墊套 (菊花紋の座布団)	清・嘉慶年間(1796—1820)
1-2-2	明黄江縹地綉纏枝花万福靠背套 (椅子の背もたれカバー)	清・道光年間(1821—1850)
1-2-3	黄緞綉蕃蓮万福迎手套 (脇息の一種)	清・乾隆年間(1736—1795)
1-2-4	黄緞綉蕃蓮万福迎手套 (脇息の一種)	清・乾隆年間(1736—1795)
1-3-1	紅緞地拉鎖綉搭襖 (ポーチの一種)	清代(1644—1911)
1-3-2	石青緞地盤金銀綉花卉紋搭襖 (ポーチの一種)	清代(1644—1911)
1-3-3	橘紅緞地打籽綉荷包 (ポーチの一種)	清代(1644—1911)
1-3-4	黒緞地拉鎖綉荷包 (ポーチの一種)	清代(1644—1911)
1-3-5	黒緞地彩綉扇套 (黒緞の扇子袋)	清代(1644—1911)
1-3-6	紅縹地綉竹蝶紋扇套 (竹に蝶紋の扇子袋)	清代(1644—1911)
1-3-7	藍縹地綉花蝶紋扇套 (花に蝶紋の扇子袋)	清代(1644—1911)
1-3-8	白緞地打籽綉花卉琴棋書画紋手扇 (琴棋書画紋の刺繡の扇子)	清代(1644—1911)
2-1-1	五彩剪絨花卉紋勒子 (花卉紋の頭飾り)	清代(1644—1911)
2-1-2	湖緑縹綉花卉紋汗巾 (縮緬のハンカチーフ)	清代(1644—1911)
2-1-3	緞地平綉四合如意式雲肩 (四合如意式の肩飾り)	清代(1644—1911)
2-1-4	緞地三藍綉花卉紋雲肩 (花卉紋の肩飾り)	清代(1644—1911)
2-1-5	平金綉瓜瓞綿綿紋雲肩 (子孫繁栄を願う図柄の肩飾り)	清代(1644—1911)
2-1-6	彩錦膝褲 (レッグウォーマー)	清代(1644—1911)
2-1-7	粉絹地三藍綉花蝶紋腿帶 (花蝶紋の裾をくくる紐)	清代(1644—1911)
2-1-8	紅緞地綉花鳥寿字紋旗鞋 (満州族の女性用靴)	清代(1644—1911)
2-1-9	湖緑絹綉花卉紋高底弓鞋 (漢族の女性用靴)	清代(1644—1911)
2-2-1	湖藍花果紋暗花縹綉女衫 (花果紋の縮緬の女性用上着)	清代(1644—1911)
2-2-2	葱緑百蝠紋暗花縹綉女衫 (蝙蝠紋の女性用上着)	清代(1644—1911)
2-2-3	桃紅色暗花縹綉三藍綉 花蝶福寿紋女襖 (花蝶福寿紋の刺繡入り女性用上着)	清代(1644—1911)
2-2-4	紅緞地綉富貴三多紋女襖 (三多紋の刺繡入り女性用上着)	清・同治年間(1862—1874)
2-2-5	黒緞地釘帶綉葡萄紋女褂 (葡萄紋の女性用上着)	清代(1644—1911)
2-2-6	白緞地綉本色百蝶紋女褂 (百蝶紋の女性用上着)	清代(1644—1911)
2-2-7	紫色暗花紗縹衣 (紫色の透かし模様 of 女性の日常着)	清代(1644—1911)
2-2-8	藕荷色寧縹綉花蝶紋琵琶襟坎肩 (薄紫色の花蝶紋の女性用ベスト)	清代(1644—1911)
2-2-9	黒緞地綉水仙牡丹紋掛欄 (水仙・牡丹を刺繡したワンピース)	清代(1644—1911)
2-3-1	黄緞地綉花卉紋馬面裙 (花卉紋を刺繡したスカート)	清代(1644—1911)
2-3-2	粉色暗花縹打籽綉馬面裙 (相良織のスカート)	清代(1644—1911)
3-1-1	玉龍鳳紋梳 (龍と鳳凰紋の玉製櫛)	清代(1644—1911)

3-1-2	白玉鑲雕花卉紋挑簪 はくぎよくろうちようかきもんちようしん	(花卉透かし彫りの白玉の簪)	清代(1644—1911)
3-1-3	白玉嵌宝石挑簪 はくぎよくかんほうせきちようしん	(宝石を象嵌した白玉の簪)	清代(1644—1911)
3-1-4	白玉光素扁方 はくぎよくこうそへんほう	(白玉の無紋の笄)	清代(1644—1911)
3-1-5	玉鑲雕花蝶紋扁方 ぎよくろうちようかちようもんへんほう	(花と蝶を透かし彫りした玉の笄)	清代(1644—1911)
3-1-6	銀点翠鳳釵 ぎんでんすいほうさ	(銀の点翠の髪飾り)	清代(1644—1911)
3-1-7	銀点翠鳳釵 ぎんでんすいほうさ	(銀の点翠の髪飾り)	清代(1644—1911)
3-2-1	琥珀朝珠 こはくちゆうじゆ	(琥珀の礼装用首飾り)	清代(1644—1911)
3-2-2	玻璃珠手串 はりしゆじゆせん	(ガラスの腕輪)	清代(1644—1911)
3-2-3	九節金蟠鐲(対) きゆうせつきんぱんたく(つい)	(金製の腕飾り)	清代(1644—1911)
3-2-4	鑲銀龍首珊瑚珠手鐲 じようきんりゆうしゆきんこうしゆじゆたく	(銀の龍首をはめた珊瑚の腕輪)	清代(1644—1911)
3-2-5	玳瑁嵌宝石手鐲(対) たいまいかんほうせきしゆたく(つい)	(宝石を象嵌した玳瑁の腕輪)	清代(1644—1911)
3-3-1	玉鑲雕鸚鵡紋佩 ぎよくろうちようおうむもんはい	(鸚鵡を透かし彫りした玉佩)	清代(1644—1911)
3-3-2	玉仙人乗槎紋佩 ぎよくせんじんじようさもんはい	(仙人の図柄の玉佩)	清代(1644—1911)
3-3-3	碧璽松鼠葡萄紋佩 へきじしゆくみぶどうもんはい	(葡萄に栗鼠紋の佩)	清代(1644—1911)
3-3-4	玉龍首鱷牙 ぎよくりゆうしゆげいが	(龍の首がついた玉のくじり)	清代(1644—1911)
3-3-5	玉鑲雕寿字花卉紋香囊 ぎよくろうちようじゆじかきもんこうのう	(透かし彫りの玉の匂袋)	清代(1644—1911)
3-3-6	琥珀人物紋香囊 こはくじんぶつもんこうのう	(人物紋の琥珀の匂袋)	清代(1644—1911)
3-3-7	金雲翟紋霞帔墜子 きんうんてきもんかひつし	(金製の霞帔飾り)	清代(1644—1911)
4-1-1	西太后《寿桃図》 せいたいこう じゆとうず		光緒15(1889)年
4-1-2	西太后《梅花図》 せいたいこう ばいかず		光緒20(1894)年
4-1-3	西太后《牡丹図》 せいたいこう ぼたんず		光緒30(1904)年
4-1-4	西太后《松図》 せいたいこう しょうず		光緒33(1907)年
4-1-5	西太后《頤寿》 せいたいこう いじゆ		清・光緒年間(1875—1908)
4-1-6	栄惠皇貴妃《錫茲繁祉》 えいけいこうきひ しゆくじはんし		民国初期(1913—1933)
4-2-1	陳書《荷花蜻蜓図団扇》 ちんしよ かかせいていずだんせん		清
4-2-2	陳書《花鳥図》 ちんしよ かちようず		清
4-2-3	唐素《海棠花図》 とうそ かいどうかず		清中葉
4-2-4	曹素素《蘭図》 そうそそ らんず		清後葉
4-3-1	馬守真《蘭石図》 ばしゆじん らんせきず		明末
4-3-2	李因《花鳥図》 りいん かちようず		明末清初
5-1-1	清代公主像 しんたいこうしゆしゆ		清
5-2-2	清贈一品夫人汪母王夫人像 しんぞういっぴんふじんおうぼおうふじんぞう		清
5-2-1	粉彩花鳥紋蓋碗 ふんさいかちようもんふたわん	(粉彩の花鳥紋の蓋付碗)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-2	松石緑地粉彩過枝藤蘿紋碗 しょうせきりよくじふんさいかしょうらもんわん	(粉彩の藤花紋の碗)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-3	粉彩江山万代紋碗 ふんさいこうざんばんだいもんわん	(粉彩の長寿を願う絵柄の碗)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-4	粉彩過枝花卉紋碟 ふんさいかちかきもんちよう	(粉彩の花鳥紋の小皿)	清・道光年間(1821—1850)
5-2-5	粉彩福寿盤 ふんさいふくじゆばん	(粉彩の福寿紋の皿)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-6	青花花卉紋渣斗 せいかくきんせんさど	(染付の花鳥紋のかす入れ)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-7	粉彩花卉紋蓋盒 ふんさいかきもんふたごう	(粉彩の花鳥紋の蓋付盒)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-8	黄地粉彩花蝶紋葫芦瓶 こうじふんさいかちようもんころへい	(粉彩の瓢箪型瓶)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-9	粉彩荷花杯 ふんさいかかはい	(粉彩の蓮の花形の杯)	清・光緒34(1908)年
5-2-10	粉彩百蝶紋賞瓶 ふんさいひやくちようもんしやうへい	(粉彩の百蝶紋の観賞用瓶)	清・光緒年間(1875—1908)

5-2-11	粉彩雲蝠紋賞瓶 <small>ふんさいうんぷくもんしょうへい</small>	(粉彩の蝙蝠紋の観賞用瓶)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-12	藍釉賞瓶 <small>らんゆうしょうへい</small>	(藍釉の観賞用瓶)	清・光緒年間(1875—1908)
5-2-13	紫砂菱花式壺 <small>しさりょうかしきこ</small>	(菱花形の急須)	清・康熙年間(1662—1722)
5-2-14	紫砂瓜棱式壺 <small>しさりょうしきこ</small>	(瓜形の急須)	清・嘉慶年間(1796—1820)
5-2-15	紫砂提梁壺 <small>しさいていりょう</small>	(手持ち付きの急須)	清・道光年間(1821—1850)
5-2-16	粉彩開光海屋添籌図如意 <small>ふんさいかいこうかいおくでんちゆうずい</small>	(粉彩の長寿を願う紋様の如意)	清・道光年間(1821—1850)
5-2-17	粉彩描金無量寿佛坐像 <small>ふんさいびょうきんむりやうじゆぶつざざう</small>		清・乾隆年間(1736—1795)
5-3-1	銅胎招絲珞珈纏枝蓮紋瓶 <small>どうたいしやうしらくがぜんしゆせんもん</small>	(七宝の蓮紋の瓶)	清・乾隆年間(1736—1795)
5-3-2	銅胎画珞珈“三陽開泰”図手炉 <small>どうたいがはうらくがさんやうかいたいざしゆろ</small>	(三陽開泰図の七宝の手あぶり)	清代(1644—1911)
5-3-3	銅胎画珞珈宝相花紋香薰 <small>どうたいがはうらくがほうさうげもんこうくん</small>	(七宝の香箱)	清代(1644—1911)
5-3-4	碧玉龍首帶鈎把燒蘭花鳥紋鏡 <small>へきぎょくりゆうびおびこうはやくらんはなとりもんかがみ</small>	(花鳥紋の手鏡)	清代(1644—1911)
5-4-1	紫檀鑲雕爵祿封侯紋香筒 <small>したんろうちやうしやくろくほうこうもんこうつつ</small>	(爵祿封侯紋の透かし彫り香筒)	清代(1644—1911)
5-4-2	竹雕梅花花插 <small>ちくちやうばいかかそう</small>	(梅花紋の竹の花生)	清代(1644—1911)
5-4-3	黄楊木雕如意 <small>わうやうぶどうい</small>	(黄楊の如意)	清代(1644—1911)
5-4-4	紅樓夢人物紋剔紅天球瓶 <small>こうろうむねんぶつもんてんきゆうてんきゆうへい</small>	(紅樓夢の登場人物紋の漆の瓶)	清代(1644—1911)
5-4-5	嵌螺鈿人物紋黒漆盒 <small>かんらでんじんぶつもんこくしつごう</small>	(螺鈿の人物紋の蓋物)	清・康熙年間(1662—1722)
5-4-6	龍紋剔紅方盒 <small>りゆうもんてんきゆうほうごう</small>	(龍紋の漆の蓋物)	清・乾隆年間(1736—1795)
6-1-1	隸書孝經 <small>れいしよこうけい</small>		清代(1644—1911)
6-1-2	《初拓聖教序》 <small>しよたくせいきやうじよ</small>		清代(1644—1911)
6-2-1	紫檀管毛筆 <small>したんかんもうひつ</small>	(紫檀の管の毛筆)	清代(1644—1911)
6-2-2	竹節筆筒 <small>ちくせつひつとう</small>	(竹製の筆立)	清代(1644—1911)
6-2-3	竹節式筆筒 <small>ちくせつしきひつとう</small>	(竹の形をした筆立)	清代(1644—1911)
6-2-4	黄楊木雕竹鳥紋筆筒 <small>わうやうぶどうちくちやうもんひつとう</small>	(黄楊の竹鳥紋の筆立)	清代(1644—1911)
6-2-5	銅筆洗 <small>どうひつせん</small>	(銅製の筆洗)	清代(1644—1911)
6-3-1	御製“清香直節”墨 <small>ぎよせいせいこうちよくせつぼく</small>	(乾隆帝御用の墨)	清・乾隆年間(1736—1795)
6-3-2	琴式墨 <small>きんしきぼく</small>	(琴形の墨)	清代(1644—1911)
6-3-3	御製棉花図詩墨 <small>ぎよせいめんかずしぼく</small>	(御製の綿花図詩入りの墨)	清代(1644—1911)
6-3-4	西湖十景集錦墨 <small>せいこじゆつけいしゅうきんぼく</small>	(西湖十景をかたどった墨)	清代(1644—1911)
6-3-5	“万年紅”朱墨 <small>まんねんこうしゆぼく</small>	(万年紅の銘入り朱墨)	清・光緒32(1906)年
6-3-6	紫檀木雕福寿如意墨床 <small>したんもくちやうふくじゆい</small>	(紫檀の墨置)	清代(1644—1911)
6-3-7	端石双桃形硯 <small>たんせきしやうたうけいげん</small>	(二つの桃の形の端溪の硯)	清代(1644—1911)
6-3-8	松花江石石榴紋硯 <small>しやうかこうせきざくろもんげん</small>	(石榴紋の松花江石の硯)	清・雍正年間(1723—1735)
6-4-1	竹雕鶴鹿同春臂擱 <small>ちくちやうかくろくどうしゆんひかく</small>	(鶴鹿同春紋の竹の肘置)	清代(1644—1911)
6-4-2	紫檀嵌銀絲鎮尺 <small>したんかんぎんしちんしゃく</small>	(銀象嵌の紫檀の文鎮)	清代(1644—1911)
6-4-3	竹雕松竹紋山子 <small>ちくちやうしやうちくもんさんし</small>	(松竹を彫った竹製の置物)	清代(1644—1911)
6-5-1	田黃雕螭紋印章 <small>てんおうちやうちんいんしやう</small>	(螭を彫った田黄の印章)	清代(1644—1911)
6-5-2	嬰戲紋剔紅印盒 <small>えいぎもんてんきゆういんごう</small>	(嬰戲紋の漆の印肉入れ)	清・乾隆年間(1736—1795)
6-5-3	剔紅花果紋蓋盒 <small>てんきゆうかきょうげん</small>	(漆の蓋物)	清代(1644—1911)